

## 展示会「暖簾の流儀～企業に息づく経営者のメッセージ」のご報告

### 暖簾の流儀～企業に息づく経営者のメッセージ～

- 日 時：平成22年2月8日（月）～2月24日（水）9：00～17：30 ※土日祝日を除く  
会 場：大阪市役所1階 玄関ホール  
主 催：企業ブランド力向上プロジェクト実行委員会（大阪市、大阪「NOREN」百年会）  
内 容：大阪のれん商法とは  
大阪「NOREN」百年会会員企業の創業年表  
老舗のことば ～今もいきる経営者のメッセージ～  
大阪再発KEN記
- 展示会の様子：パネルデータ、写真をご参照ください

## 展示会開催趣旨

大阪で100年以上の長きにわたり、  
歴史と伝統を守りながら新しいものを生み出し、  
発展してきた老舗企業。

その時代、時代の厳しい経営環境を克服し、  
困難を乗り越えて、ブランド力を高めてきた  
企業には、創業者・歴代経営者や現在の経営者等の  
掲げる「メッセージ」が存在します。

今回の展示会では、大阪「NOREN」百年会  
会員企業の中から、21社のご協力を得て、  
商都大阪で100年以上にわたり、  
時代の荒波を乗り越え、伝統を守りながら  
改革を続けてきた老舗企業に今も息づく  
“経営者のメッセージ”を紹介します。

企業ブランド力向上プロジェクト実行委員会  
(構成:大阪「NOREN」百年会・大阪市)

### 大阪「NOREN」百年会とは

大阪府が市制100周年記念事業の1つとして、平成2年に、冊子「暖簾」を発行しました。これを契機に、大阪で生まれ育った創業100年以上の企業が集まり、平成2年11月29日に大阪「NOREN」百年会が設立されました。会員企業にとどまらず、広く大阪経済の発展に貢献するため、展示会やフェアなどの事業を行っています。

## 大阪のれん商法とは

壺

のれんとは、  
永続性のシンボルであり、  
経営理念の表明である。

弐

のれんとは、  
長きにわたる  
信用の蓄積である。

参

のれんとは、  
時代に適応した経営革新によって  
生き抜く力の源泉である。

四

のれんとは、  
和合と共生の経営  
という強みである。

伍

のれんとは、  
事業活動を通じて、社会的責任や  
社会的貢献を果たすことである。

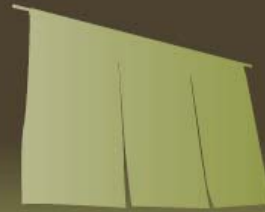
# 創業年表

CHRONOLOGY OF SHINISE

西暦	元号	企業名
一八七三	明治六	(株)中家
一八七二	明治五	(株)飯井商店 やぶ内時計舗
一八七一	明治四	(株)鴻池組 内田写真(株) 白井松器(株)
一八六九	明治二	岡崎鑛産物(株) (株)高津久本店 (株)宇治園
一八六七	慶応三	月岡硝子(株)
一八六六	慶応二	井澤金属(株)
一八六五	慶応元	(株)宇治香園
一八六四	元治元	丸萬本家
一八六一	文久元	(株)山田念珠堂
一八五八	安政五	(有)かわい
一八四八	嘉永元	(株)長川仁三郎商店 (株)小倉屋山本
一八四六	弘化三	(株)石原時計店
一八三九	天保一〇	カネヒラ鉄鋼(株)
一八三七	天保八	(株)森惣 段野昆布(株)
一八三〇	天保元	(株)花外樓 (株)きたむら工業 (株)鏡辰堂
一八二九	文政一二	(株)本福壽司
一八〇五	文化二	(株)あみだ池大黒 西邦産業(株)
一七八一	天明元	(株)五初堂 (株)神宗
一七四五	延享二	(株)阿波彌
一七三二	享保七	勢山竹材店
一七一六	享保元	(有)橘屋毒永
一六八九	元禄二	(株)ウエムラ
一六五三	承応二	(株)小鯛雀船造萬
一六二二	元和八	樋屋製薬(株)
一五六六	承禄九	西川リビング(株)
一八七六	明治九	(株)佐渡島 大資蒲鉾(株)
一八七七	明治一〇	(株)三井住友銀行 昭和貿易(株) 大和屋
一八七八	明治一一	芦森工業(株) ザ・バック(株)
一八八一	明治一四	(株)北むら
一八八五	明治一八	大日本除虫菊(株) ニツタ(株)
一八八六	明治一九	(株)桃谷順天館 (株)水井半
一八八七	明治二〇	高田商事(株) (株)せのや (株)高山堂
一八八八	明治二二	学校法人相堂学園
一八八九	明治二三	浪田石油(株) (株)小林新聞舗
一八九〇	明治二三	稲加産業(株)
一八九二	明治二五	(株)渡辺護三堂 (株)大林組
一八九三	明治二六	(株)乃村工藝社
一八九六	明治二九	森下仁丹(株) (株)シエル石油大阪発売所 (株)ヤラカス館
一八九七	明治三〇	(株)今西組
一八九八	明治三一	日米鑛油(株)
一八九九	明治三二	サントリーホールディングス(株) (株)谷安組
一九〇〇	明治三三	凸版印刷(株)
一九〇一	明治三四	須賀工業(株)
一九〇三	明治三六	村中医療器(株)
一九〇四	明治三七	共栄社化学(株)
一九〇五	明治三八	大阪ガス(株)

# 老舗のことば

～今もいきる経営者のメッセージ～



名前

空欄

企業情報

創業者や歴代経営者の格言など、各企業が大切にしていることば

作られた状況や意味、どのような思いをこめてそのことばを大切にしているかについて

六代目社長 現会長  
小林 林之助

株式会社あみだ池大黒  
栗おこし・菓子製造販売  
創業1805年

「暖簾」は時代と共に染め変え、織り直して使うものである。創業二百有余年、やもすると「暖簾に安住」しがちであるが、これを強く戒めたもの。

暖簾にあぐらをかくな

七代目社長  
熊田 朔太郎

株式会社阿波彌  
餅菓業  
創業1745年

先々代社長朔太郎が新聞の取材を受けた際の言葉。私どもが御用金をうけたまわるのはいざという時だけ。「仕事としてお伺いするんじゃないかと、心をこめてお手伝いし上がるんだ」と言う心構えを持たなければ、この仕事は続かないという意味。

通りいっぺんのことばをしてはいかんのです。

代表取締役社長  
井澤 武尚

井澤金属株式会社  
非鉄金属部  
創業1866年

新商品開発や独自技術の創造など、産社の枠を超え、事業領域を広げている「インタレスト&アイデア（無限の好奇心とみずみずしいアイデア）」を武器に、持続的な発展を遂げる創造的企業を目指している。

インタレスト&アイデアで未来を拓く

創業者  
重村 源兵衛

株式会社宇治園  
茶小売  
創業1869年

古来の歴史書の引用で源兵衛が信衆とした言葉。いつの時代でも衣食住が満たされているのにも関わらず、心淋しい想いを抱くことがある。そんな時、一服のお茶を心静かに飲むことがどんなに心を癒してくれるかが！

のどが乾けば水を飲み  
心が渴けばお茶を飲む

# 老舗のことば

～今もいきる経営者のメッセージ～

## 「至誠忍耐」

商いの心を忘れずに、  
「昆布の真正」を届ける。

代表取締役社長  
山本博史

株式会社小倉屋山本  
昆布・各種食品製造販売  
創業1848年

高次元年に創業し、「確信」  
を後世へ受け継ぐために、限  
いた言葉。「誰いの心」を忘  
れず、素材へのこだわり、培わ  
れてきた製造技法、おもてなし  
の心づかい…全てに「真正」  
を貫く想いから生まれた。

「誠意・熱意・創意」  
人には誠意を事には熱意を  
常に創意工夫を怠るべからず

二代目当主  
小嶋徳松

株式会社宇治香園  
茶卸小売  
創業1865年

宇治香園二代目小嶋徳松が  
大指揮に記した言葉。高いに  
おいてのみならず、人生を全う  
する上での根本思想として徳  
松が生運にわたり己に問い掛  
け続けた。以来、宇治香園の  
永続的発展に向けた礎として、  
今も脈々と受け継いでいる。

## 出ん得

五代目当主夫人  
中造あい

株式会社玉初堂  
饅頭・餅・旬菓子製造  
創業1804年

五代目当主夫人が伝え聞い  
た言葉。安易な外出を戒めて  
いるだけでなく、それに伴う  
無駄な出費を戒めている。  
質素節約を旨とするが、有益  
な支出は厭わず、良い物を購  
入し、永く大事に使えという訓  
えも含んでいる。

凡而事感謝也  
(すべてのことは感謝なり)

創業者  
片岡利郎

共栄社化学株式会社  
化学工業  
創業1904年

すべての事に感謝する気持ち  
を大切にし、関係者の皆様と  
の共存共栄を真剣に考え、実  
現していきたいとの思いから  
創業者より受け継がれている  
言葉。

## 誠実

売って喜び買って喜ぶ  
共生とパートナーシップ

代表取締役  
徳光正子

株式会社花外樓  
日本料理・西洋料理  
創業1830年

華やかに見える料理屋の中で、  
初代の志は「誠実」そのもの  
だった。余りにも月並み当たり  
前の言葉だが、高いの町で何  
よりの信頼を重んじた。信頼  
こそ財産、その基本は「誠実」。  
価値観が揺らぐ現代、初心に  
もどり基本を大切にしたい。

# 老舗のことば

～今もいきる経営者のメッセージ～

創業者  
森田重成

ザ・バック株式会社  
紙加工  
創業1878年

森田創業社長が常に言い続けた「経営の心」からの抜粋。「仕事をまかせる」とは、仕事を任せることで人を育てるという意味。また、「分ければ判る」というのは、計数経営の徹底、この「経営の心」は社内の会議等で唱和し、心に刻み込まれている。

仕事をまかせる  
分ければ判る

創業者  
鳥井信治郎

サントリーホールディングス株式会社  
酒類・食品製造販売  
創業1899年

「赤玉ポートワイン」からスタートし、日本で初めてウイスキー事業に着手した鳥井信治郎の口癖であった。二代目社長佐治敬三がビール進出の決意を告げた際にも、信治郎から発せられた、フロンティアスピリットに満ちた言葉である。

「やってみなはれ」

代表取締役社長  
野萩育郎

株式会社せのや  
大阪みやげ企画販売  
創業1887年

「いちびり」とは「市振り」が語源。一身振り手振りでの市場の僅決めを取り仕切る人。転じて、まちのリーダーシップをとることを意味する。大阪みやげの「いちびり庵」を出店し、歴史・文化を大切に、大阪の魅力を創造発信する地域貢献企業をめざしている。

いちびり・はんなり  
ほんまもん!

六代目当主  
勢山庄三郎

勢山竹材店  
竹材商  
創業1722年

庄三郎は公職にも就き、大阪の発展に貢献し、発起人となった生駒トンネルが築工事で費用がかさみ相当な財産を減じた。しかし、家業が絶えず盛業であったのは、儲けを吐かず信用を第一益と考えていたからである。

儲けようと思ふな、  
人が儲けさせてくれる

二代目社長  
小谷権六

大寅蒲鉾株式会社  
水産練製品製造販売  
創業1876年

小谷権六が、信業としていた言葉。最も大切なことは、「お客様の気持ちになってうまいものを作り売ること」。どんな時代でも「うまいものを作っておれば大丈夫」とも。今も大寅は材料一番、魚を吟味することから始まる。

作るも売るも  
買う心

# 老舗のことば

～今もいきる経営者のメッセージ～

創業者  
上山英三郎

鶏口  
となるも  
牛後  
となる勿れ

大日本除虫菊株式会社  
(KINCHO)  
家庭用殺虫剤、家庭用品製造販売  
創業1885年

中国の歴史書「史記」の一節で美一郎が信楽としていた言葉。小さい集団であっても、その中で長となる方が大きな集団の中で尻に付き従う者よりも良いという意味。これに因んだ商標登録された。

代表取締役社長  
竹本清三

一菓素心

株式会社高山堂  
和菓子製造販売  
創業1887年

創業百年の昭和62年に現社長が「和菓子の高山堂」として再スタートするに際し、新たに制定した理念。中国の思想家・済自誠の著書「菜根譚」にある「一点素心」のことばにちなみ、菓子づくりにかける純粋な思いを表現した。

創業者  
田中伊兵衛

世に感謝の  
念を忘れず

株式会社田中東  
石神加工販売  
創業1873年

信頼を得るため、物を売る。その信用の基礎の上にはか企業の発展はない。その長い時の中より一瞬のひらめきを生むために創業者から受け継がれている言葉。

代表取締役会長  
西川甚五郎

誠実・親切・共栄

西川リビング株式会社  
寝具・寝装品販売  
創業1566年

商いとは信用である。信用は安心である。との思いから西川品質を象徴する社章。創り出す製品・サービスを通じて“ホームファッション”と“健康”を提供し、社会に貢献したいと考えている。

創業者  
新田長次郎

発明・改良・円満

ニッタ株式会社  
伝動用ベルト製造  
創業1885年

創業者の座右の銘。「発明・改良」は製造業として当然のこと。良い製品の提供が顧客や社員など全ての関係者との良い関係「円満」につながる。また、円満であることが新たな発明や改良を生むとの考え、今も受け継がれている。

# 老舗のことば

～今もいきる経営者のメッセージ～

創業者  
桃谷政次郎

株式会社桃谷順天館  
化粧品製造販売  
創業1885年

創業者桃谷政次郎は漢学を学んだとき「この宇宙には創造したもうた方(天)がおられる。天に順うことは、人々に専仕することにつながる」という教えをうけた。当時の精神と姿勢を今に受継ぎ、創業当時からの社風となっている。

“天に順うの心”

順天

五代目社長  
山田義郎

株式会社山田念珠堂  
念珠製造卸  
創業1861年

創業時(文久元年)の員職工・木球製造技術と伝統を基に御念珠を作り、以来、一筋に原材料を吟味し「全量国内生産」にこだわり、お使いされる皆様の信頼に答えることが信用と信頼を構築することがある、との意味。

品質に偽称なく  
高品質であることが  
信用と信頼

## 協力会員企業 (50音順)

株式会社あみだ池大黒  
株式会社阿波彌  
井澤金属株式会社  
株式会社宇治園  
株式会社宇治香園  
株式会社小倉屋山本  
株式会社花外樓  
共栄社化学株式会社  
株式会社玉初堂  
ザ・バック株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
株式会社せのや  
勢山竹材店  
大寅蒲鉾株式会社  
大日本除虫菊株式会社  
株式会社高山堂  
株式会社田中家  
西川リビング株式会社  
ニッタ株式会社  
株式会社桃谷順天館  
株式会社山田念珠堂

